

## 銀座ミツバチプロジェクトが今年で15周年！

松屋銀座も屋上菜園で蜜源提供 銀座産はちみつを使ったスイーツで地産地消

## 松屋銀座と銀座ミツバチプロジェクト

松屋では、都市と自然環境の共存を目指す「銀座ミツバチプロジェクト」に当初から賛同し、2007年より蜜源となるよう屋上緑化の整備、採蜜活動に協力しています。また、希少な銀座はちみつを使ったオリジナルスイーツを販売し、地産地消の推進による地域活性化に取り組んでいます。

## 銀座ミツバチプロジェクト（通称：銀ぱち）

2006年より銀座のビルの屋上を緑化してミツバチを飼い、採れたはちみつを商品化するNPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」。16年目となる現在では年間1トン以上のはちみつを産出しています。ミツバチは花粉を集める過程で植物の受粉に貢献し、周辺生態系に好影響を及ぼすとされており、持続可能なソーシャルビジネスとしても注目されています。

写真右：NPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」理事長 田中淳夫氏



ginpachi

## 松屋銀座「ギンザグリーンプロジェクト」と銀座ミツバチプロジェクト

松屋銀座は当初から銀ぱちの活動に賛同。2007年から社員有志で「ギンザグリーンプロジェクト」活動を実施し、屋上菜園にて蜜源になる植物を栽培しています。収穫した作物は、こうぞ、みつまたを使った紙すき、新茶の時期の茶摘み体験など、お客様イベントにも活用しています。また、養蜂や採蜜に関わることで、松屋



Ginza Green Project  
銀座グリーンプロジェクト

社員が銀座近隣の環境に触れ、はちみつが採れるまでの背景や安全性を体感。特性を深く理解することに繋がっています。食品売場の取引先にもこの活動を理解してもらい、銀座はちみつを使った商品を開発、販売。また、クリスマスには、巣から採れた蜜蝋で作ったキャンドルを販売し、収益は全額、特定非営利活動法人「ジャパンハート」などに寄付しています。

## 松屋銀座の「銀座はちみつフェア」

銀座はちみつを使った定番商品に、新商品や復刻商品をあわせた24種類を紹介します。

- 会期：2021年5月19日(水)～6月1日(火) 14日間 ■会場：地下1階、地下2階食品売場
- 展開商品：18ブランド24品（全て松屋銀座限定、新商品：7品）

## 松屋オンラインストア

- 会期：2021年5月19日(水)11時より ■展開商品：12ブランド13品
- 松屋オンラインストア：[https://store.matsuya.com/goods/list.html?cid=fs\\_cat\\_honey](https://store.matsuya.com/goods/list.html?cid=fs_cat_honey)